

宝塚市美座小校区

コミュニティ美座 だより

宝塚市美座地域まちづくり協議会



★美座小学校区にお住いの皆様へのコミュニティ情報です。

総務部広報発行 ☎0797-84-7120



●まちづくり計画完成

10月18日河川敷にて



この武庫川河川敷(左岸)の草刈りはボランティア活動によって...

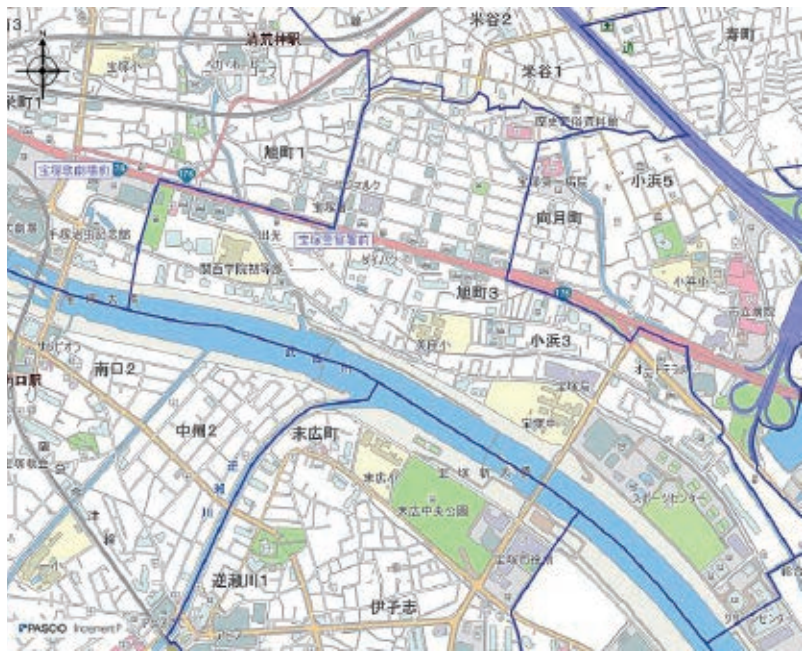
武庫川左岸の河川敷(武庫川町、美座、小浜周辺)は、危険箇所を除いて地域ボランティアが草刈りなどの整備をしています。大変広い場所なので多くの労力と時間が必要です。ボランティアも高齢化し、人手が足りないのが現状です。**若手世代の方々！ 応援よろしくお願ひします！ 楽しみもありますよ！**

☆お問い合わせ先：コミュニティ美座(武庫川町地区は花のみち自治会、美座地区はアドプト美座、小浜地区は武庫川クリーン作戦が担当)

コミュニティ美座まちづくり計画が完成

「まちづくり計画」とはコミュニティ美座（宝塚市美座地域まちづくり協議会）が地域の課題やニーズを踏まえ、まちの多くの人々が参加して『将来このまちが、こうなっていたらいいなあ』と思う「地域の将来像」を描き共有し、具体的な取り組みをまとめたものです。まちづくり協議会（まち協）が最初にまちづくり計画を作成してから約15年が経ち、社会経済環境は大きく変化し、少子高齢化、経済格差、無縁社会等の現象が顕著に現れてきています。このため、こうした時代に沿った「まちづくり計画」となるよう、見直しをすることが求められます。

このためコミュニティ美座では、広く地域の人の意見や思いを反映できるよう、アンケート調査やワークショップなどのネットワーク会議等を重ね、令和2年3月に改定版が完成しました。※まちづくり計画の詳細はブログをご覧ください。（表紙QRコードから検索できます。）



地域の現状と課題

私たちのまち美座小学校区は、まちの南側を武庫川が流れ、整備された河川敷が広がる豊かな空間を有しています。また、市役所を始め、ほとんどの公共施設が近く、商業施設やさまざまな事業所も立地し、利便性が高い地域です。花のみの遊歩道や宝塚ファミリーランド跡地で開発された施設、学校、住宅そしてスポーツセンター周辺などには緑豊かな空間も広がっています。

しかしながら利便性が高い一方で、地域の中央を国道176号線が横断しており、国道を挟んだそれぞれの地区で通勤、通学等で利用する交通手段も一定ではなく、人が地区をまたいで往来することが余り多くありません。このため特に高齢者のコミュニティが地区ごとにやや分断されています。

また武庫川の堤防より土地が低いところが多く、台風や集中豪雨のときに、道路の冠水や床下浸水などが発生しています。昨今の全国的な災害状況を鑑みると、武庫川の氾濫に伴う大水害も想定する必要があり、地域での十分な防災対策が不可欠です。

美座小学校区の人口は、2014年以降、増えたり減ったりとなっています。子どもの人口も同様の傾向にあります。これは少子化で全国的には子どもが減少しているものの、地域内に新たに高層マンションや住宅等が建ち、新しく転入してくる若い層もあるためです。一方65歳以上の人口は年々増加しており、高齢化率は2019年3月末現在で27.9%、鶴の荘、美座1丁目は40%を超えています。また一人暮らしの高齢者も増えています。

ネットワーク会議などで、新たな転入者が自治会に加入しないなどの声がよく上がっており、自治会の加入世帯は校区の全世帯の半数を下回っています。そのため自治会が果たしてきた地域の情報伝達も、さりげない見守り活動も困難になっています。自治会やまち協、各種団体ではつながりづくりや見守り活動など、さまざまな事業に取り組んでいますが、災害時の助け合いのためにも自治会に加入していない世帯との日頃からの関係づくりも大きな課題の一つとなっています。

アンケート調査を行ったところ、まちの課題として、大人は「水害の危険がある」「一人暮らしの人が増えた」「交通量が多い」「駅が遠い」などをあげています。一方、子どもたちは「夜、暗くて怖い」「遊べる公園が少ない」などを不満に思っていることが分かりました。

今後どのようなまちになったらよいかについて、大人は「子どもが安心して遊べる場、公園がある」「イザという時に、ご近所が助け合える」「人々が気軽に集まって交流し、楽しめる場がある」がベスト3となっています。子どもたちは、「仲よし、協力し合える」「笑顔のある」「自然のある」「きれいな」「安心安全な」というキーワードで、将来こうあったらよい、というまちを表現してくれました。



まちづくり計画の概要

(詳細はブログを。表紙 QR コードにて検索)



■地域の将来像

“笑顔あふれる美座”

「笑顔」の基本は、安全なまちと人とのつながりがある安心感。

それを基盤に、まちを舞台にして、みんなが集い、いろいろな楽しいことを企画、実施して、みんなが笑い合っているまちをめざして、まちづくりに取り組みます。

■基本目標と具体的な取り組み

1. 安心して暮らせるまち

- ・ 水害発生の危険性が高いまちとしての備えの充実
- ・ 地域の安全点検
- ・ パトロール、見守り活動の継続
- ・ 防災をベースにした隣近所とのつながり
- ・ 通学路等の道路の安全性向上
- ・ 門灯点灯運動で一人ひとりの防災意識の向上

2. 多世代がつながるまち

- ・ 子どもと高齢者の交流
- ・ 子育て世代と地域との交流
- ・ 既存行事に来てほしい層向けの広報
- ・ 新規転入者、ご近所でもつながりが少ない人へのあいさつ
- ・ エイジ・フレンドリー・シティの推進

3. みんなが楽しく暮らせるまち

- ・ 小中学生の居場所づくり（児童館のような場所）
- ・ 中高生の居場所づくり
- ・ 公園の充実
- ・ 不登校生のための居場所づくり
- ・ 障がいのある人、外国人との交流

4. 武庫川とともにあるまち

- ・ 武庫川の自然や歴史を知る機会づくり
- ・ 気楽にスポーツが楽しめる場づくり
- ・ 河川敷をみんなで美しい場所にする（清掃、花壇づくり）
- ・ 地域行事での活用

「コロナ禍で、活動再開が難しい状況が続いています」

コミュニティ美座では、9月、10月、11月の臨時役員会で今後の活動再開をどう判断していくかについて協議してきましたが、引き続き、再開できる状況にはない、との結論に達しました。

世間の動きをみると、GOTOキャンペーン等の影響もあって、外出する人が増加し、収束に向かっていくかのように思っていますが、決して現実はそのような状況ではないと考えます。ましてやコミュニティの参加者は高齢者が多く、感染、発症、重症化のリスクが高いのは皆さんご存知だと思います。感染対策をしたとしても、活動再開は慎重にならざるを得ません。地域の皆様には何とぞご理解くださいますようお願いいたします。

ただ、一方で懸念していることですが、外出自粛期間が長く、コミュニティ活動も中断している中で、ボランティアも含め、参加者の気力、体力が落ちている人が多く、徐々に会う機会があると、明らかに足腰が弱っている人がいる、ということです。憂慮すべき状態かも知れません。一日も早い活動再開が待たれるところですが、早期のコロナ収束が期待できなければ、何らかの活動の代替策を考慮する必要があると考えています。引き続き役員会で、このことについても協議していきます。

地域の皆様、とにかく外出の際は、感染対策（マスク、ソーシャル・ディスタンス、消毒、検温、手洗い等）を十分実施するよう心掛けてください。

コミュニティ美座(宝塚市美座地域まちづくり協議会)

代表 梅村 諭

みざミニじどうかん

毎週火曜日（祝祭日・警報発令時はお休み）

※10:30～16:30（12:00～13:00昼休み）

場所：美座会館



みざミニじどうかんとは…
おもちゃを持って来て美座会館で出前児童館を開きます。
自由に遊びましょう。

手形足形をとろう

午前中の親子の時間…
月に一度最終週に手形足形を取って手形アートを作ります。この時期だけの手形を記念に残しませんか。
身長・体重測定もします。



お母さんと一緒に来てね

手拭きタオル、水筒を持って来てね



新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、マスクの着用、消毒液を利用してから遊んでください。体調がすぐれない時は、無理をせず、利用を自粛してください（家族の中に体調がすぐれない方がいる時も同様です）。

※状況により休館、または午前中のみ場合があります。
「gooブログ安倉児童館」でお知らせをご確認ください。

